

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果（公表用 ①）

（書式は千葉県福祉サービス第三者評価の児童館を使用）

1 評価機関

名称	株式会社 日本ビジネスシステム
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8
評価実施期間	2023年10月 1日～ 2024年 3月8日

2 評価対象事業者

名称	特定非営利活動法人市川子ども文化ステーション 放課後児童クラブびいす本八幡	種別： 放課後児童健全育成事業
代表者氏名	渡慶次 康子	定員（利用者人数）： 32名
所在地	市川市東菅野1-1-2レベソ八幡101	TEL 080-7300-2128

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

<p>◆ 特に評価の高い点</p> <p>● 日常生活を豊かにする様々な取り組み みんなが学童保育クラブを居心地の良い場所にするために、みんな考えて、みんな決めて、実践する事を目指しており、子ども同士の話し合いによるルール作りを行い実践している。びいす会議で自分の思いを表現すると共に、他者の意見も受け止め物事を決め、守る事により自分の居場所作りや存在をアピールできる場所となっている。夏季休暇の期間中の親子お泊り会や遠足では、友達や家族との関係を深める機会に繋げている。また、地域行事への参加も大切にしている。日常生活を豊かにする様々な取り組みがあり、子どもはより多くの経験を積む場面を提供している。</p> <p>● 安心・安全に過ごせる環境作り 学童保育クラブは「子ども達が毎日行きたい場所」「自分らしくいられる場所」「やりたい事が出来る場所」を目指している。日々職員との信頼関係や家庭的な雰囲気や大切に、友達との関わりの中で自己表現が出来るような居場所作りに取り組んでいる。遊びや作品作り等やりたい事や過ごし方を選択・決定する際、自分の考えで行動できるように安心して安全な環境が用意されている。隣が自由ルームになっており、トランポリンや卓球台が置かれ、天候に関係なく思い思いに遊ぶことが出来る環境となっている。近隣の公園では支援員の見守りの中、伸び伸びと遊ぶことが出来る。その他にも、利用時に外出ができ、外部の友達との交流を支援している。</p> <p>◆ 特に改善を求められる点</p> <p>● 職員の業務評価基準の明文化 現在、職員の個人面談を実施し、一人ひとりの意見や要望を確認して事業運営に反映する取り組みを行っているが、職員評価は行われていない。今後、職員の業務評価の基準を明文化し、人材育成に活かしていただくことを望みます。</p> <p>● 苦情解決体制の整備 苦情や意見については、口頭や電話、公式Lineで受付しており、事業所が直接回答しているが、苦情解決体制は整備されていない。今後、苦情解決の責任者や苦情受付の担当者、第三者委員の設置等により、体制を整備していただくことを望みます。</p>

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

<p>開設当初、めざす理念や目標を職員全員と応援してくれる法人メンバーで何度も話し合いを持ち、言語化し全員で共有してきたので、その成果を評価していただくことができたと思う。運営していく中で大事にしてきた、「子どもや保護者と信頼関係を作っていくこと」「子どもが毎日行きたいと思える場所」「子どもが安心して過ごせる環境づくり」ができてきたことや、子どもたちと一緒に考えつくっていく場になっていることも評価をいただくことができ、4年間試行錯誤しながらしくみを作ってきたことに評価をいただいたと思う。</p> <p>課題としていただいた項目に関しては、次年度の計画に入れて実施し、しくみとして組み入れて行く予定である。</p>

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

<p>運営母体であるNPO法人市川子ども文化ステーションで長年大事にしてきた「子どもの権利条約」の精神に沿った運営を基本としているため、放課後児童クラブの基本方針や今年度成立した「こども基本法」の精神も既に理解し実践してきていることが、びいす本八幡の運営にも生かされている。常に子どもの気持ちに寄り添い、様々な事柄や問題が起きた時も、子どもの声を聴き一緒に考えていく事を大事にしている。</p> <p>今後は、「子どもをまんなか」にした社会となることに貢献できるよう、地域に向けてびいす本八幡の思いや様子を発信していきたいと思う。</p>
